

ことだまレクチャー 利用マニュアル (バージョン:3.0)

1. 概要

本マニュアルでは、ことだまレクチャーの使用方法について説明します。

2. 免責事項

本ソフトウェアは、開発中の評価版のため、ご自身の責任で使用してください。開発中のため、使用中に不具合が生じることがありますがご了承ください。

なお、本ソフトウェアの使用に関連して発生した如何なる損害、および第3者からなされる損害賠償等の請求による損害(この場合の損害とはハードウェア、他のソフトウェアの破損、不具合すべてを含みます)について一切責任を負いません。

3. 入手方法

本ソフトウェアを利用するには、

<http://dev.tyzoh.jp/trac/kotodama/wiki/WikiStart>

から「zip 圧縮版」をダウンロード、展開して exe ファイルを実行するか、「ClickOnce 版」を選び Web から起動してお使いください。

4. ことだまレクチャーの使用方法

4.1. メイン画面

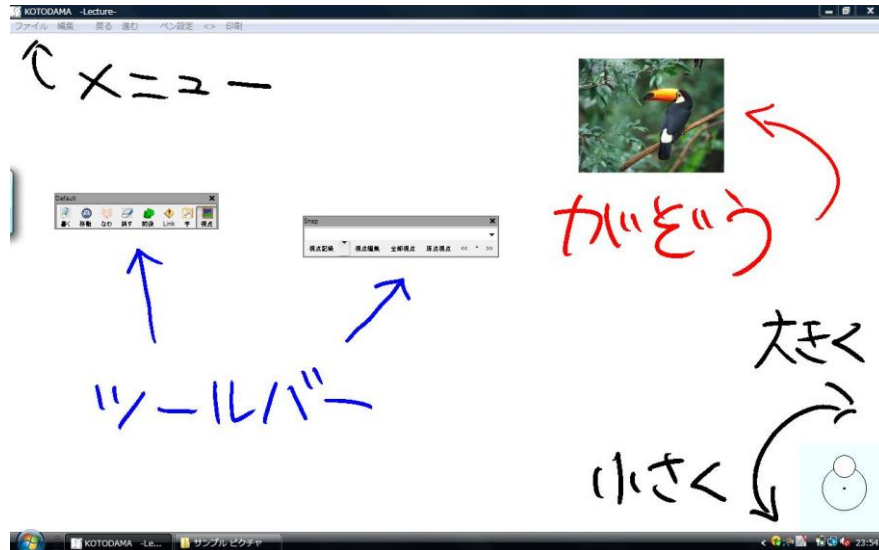


図1. メイン画面

メニュー

ファイルの新規作成や保存、ペンの色や太さの設定ができます。

Default ツールバー

書く、移動、なわ、消すなどのペンのモードを決定します。

Snap ツールバー

視点の保存、移動が行えます。

視点ホイール (画面右下)

視点の拡大、縮小が行えます。

4.2. メニューバー



図2. メニュー・バー

ファイル

- ・ 新しい白紙

ことだまのファイルを新規作成します

- ・ 既存資料の読み込み

ことだまの資料(ことだま専用ファイル)を開きます。

- ・ 最近使った資料

最近開いた資料を選択できます。

- ・ 資料を保存

現在開いている資料を(上書き)保存します。

- ・ 履歴を消して高速&低容量保存

「戻る」の履歴を捨てて資料を保存することで高速に保存でき、ファイルサイズも小さくなります。

- ・ 環境設定

ダブルバッファリングを有効・無効を設定できます。基本的にチェックした状態(有効)で使用してください。

- ・ Plug-In

登録済みのプラグインが表示されます。基本的にすべてチェックした状態で使用してください。

- ・ 例(三角形、梨)

サンプル資料です。

編集

- ・ 再描画

何らかの原因で描画が消えてしまった場合、元に戻すことができます。

- ・ ツールバー

Default、Snap ツールバーの表示/非表示を設定できます。誤ってツールバーを消してしまったとき、ここから再表示できます。

戻る

直前の操作をキャンセルします(元に戻す)

進む

直前のキャンセルを元に戻します(やり直す)

ペン設定

ペンの色や太さを選択できます(図3)

印刷

キャンバスの画面を印刷できます。



図3. ペン設定

4.3. Default ツールバー



図4. Default ツールバー



図5. なわで囲んで範囲指定

書く

(タブレット)ペンを使って書くことができます。

移動

選択された部分(赤い枠が表示)をドラッグ移動できます。また、赤い枠の四隅をドラッグして動かすとサイズの拡大・縮小が行えます。

なわ

なわ(ペン)で囲んでから選択範囲をドラッグすることで、まとめて移動、変形できます。

注意:

- ※ なわで囲んでから移動ボタンを押すと、まとめて選択した範囲がキャンセルされてしまいます。
- ※ なわで囲んでから、その上を横断するように線を引くと、囲まれた部分がまとめて削除されます。

消す

選択した対象(手書き、画像など)をペンでなぞって消すことができます。

前後

画像などの前後(重なり順序)を変更できます。対象をペンで選択して上方向にドラッグすると前面に移動し、逆に下方向にドラッグすると背面に移動します(図6)



桜の画像を上にする

図6. 画像の前後移動

Link

コンピュータ上のファイルをキャンバス上にドラッグ&ドロップすると右図のようにリンクが作成されます。Link ボタンが ON の状態でリンク部分をペンで動かすと、そのファイルを開くことができます(図7)

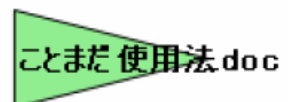


図7. Link されたファイルの表

注意:

- ※ リンクしたファイルは、ことだまレクチャーと同じドライブに保存されている必要があります。
- ※ 画像については、ことだまレクチャーのキャンバス上にそのままドラッグ&ドロップできます(図1)。
- ※ ご使用のコンピュータに Microsoft PowerPoint 2003 がインストールされている場合、ppt ファイルをキャンバス上にドラッグ&ドロップすることで、スライドを画像として並べることができます。

字

キーボードから文字を入力したいときに使用します。字ボタンを ON にした状態でキャンバス上にペンで線を引くと範囲を指定(図8の1.)され、これをクリックするとテキストの入力画面(同図の2.)が表示されます。文字を入力して画面の外をクリックすれば、キャンバス上に入力した文字が表示されます(同図の3.)。

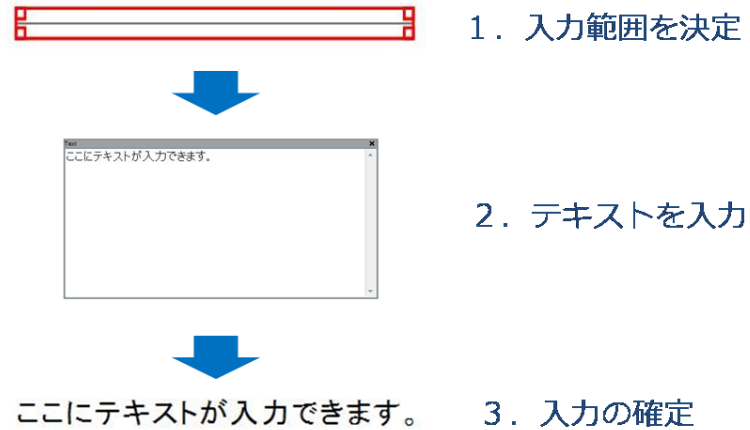


図8. 字ツールを使ったテキスト入力

視点

キャンバス上でペンを押しつけたまま(ドラッグ)移動すると、視点が移動します。また、画面右下の視点ホイールをペンで押しつけたまま回転させると、キャンバスの拡大・縮小ができます(図9)。

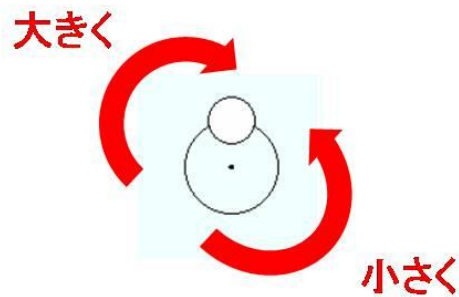


図9. 視点ホイールによる拡大・縮小

4.4. Snap ツールバー



10. Snap ツールバー

本ツールバーでは、視点の移動の記録、編集などが行えます。

視点記録

このボタンを押すたびに、視点が保存されます。各視点には通し番号(1, 2, 3, ...)で付けられます。なお、ボタン右側の矢印ボタンから、「最後尾に追加」、「挿入」、「上書き」のいずれかを選択できます。

視点編集

これまで保存した視点の順序を変更することができます。また、視点の順序セットをリストとして保存することもできます(図11)

全部視点

キャンバス上の内容すべてが画面に収まるような視点に移動します。

原点視点

ことだまレクチャーを起動した際の画面の中心(原点)に移動します。

<<

1つ前の視点に移動します。

▪

「なわ」や「移動」で選択した部分にズームします。

>>

1つ後の視点に移動します。

※ 視点に関するキーボード・ショートカット

F1 …ジャンプして1つ前の視点

F2 …ジャンプして1つ後の視点

F3 …滑らかに移動して1つ前の視点

F4 …滑らかに移動して1つ後の視点

F5 …瞬時に1つ前の視点

F6 …瞬時に1つ後の視点

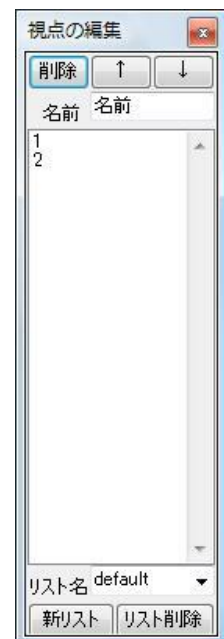


図11. 視点の編集ウィンドウ